

福祉文教常任委員会協議会 説明資料

令和 7 年 4 月 24 日

「万博国際交流プログラム」事業について

資 料

事業経過 1

令和 7 年度事業概要 1 ～ 2

< 参考 >

万博国際交流プログラムとは？／内閣官房事業とは？ . . . 2

子育て支援課

「万博国際交流プログラム」事業について

1 事業経過

時 期	概 要
令和6年7月	「万博国際交流プログラム」への登録
令和6年8月	「令和6年度内閣官房事業」に選定 主 催：内閣官房 国際博覧会推進本部事務局 事業費：こどもが主役となる交流事業等で10/10交付
令和6年12月	「大磯こどもサミット」の開催（21日） 会 場：大磯プリンスホテル
令和7年3月	「令和7年度内閣官房事業」に選定 ※主催・事業費については、令和6年度と同様

2 令和7年度事業概要

（1）趣旨

楽しく学び、こどもたちが主体的に自身の意見を発信し、「今何をすべきか」を考える場となった令和6年度の「万博国際交流プログラム」の取組み（「大磯こどもサミット」開催）を一過性にせず、こどもたちの「知りたい・学びたい・触れ感じたい」という意識をさらに発展させ“継続”できる場として、学びの機会を創出する。

（2）事業のポイント

- ・こどもたちが自ら考え、自分の意見を発信できる場づくり
- ・「こどもの権利」や「SDGs」に対する正しい認識や理解を得る機会づくり
- ・アフリカ・ウガンダ共和国を中心とした国際交流の機会づくり

（3）事業期間

令和7年4月1日～12月31日

（4）テーマ

「みらいわくわく 大磯から世界へ羽ばたこう」

（5）対象者/募集人数

- ・町内在住、在学の小学5年生から23歳未満（大学生相当年齢）
- ・30名

(6) プログラム (予定)

時 期	概 要	備 考
4～5月	【募集】参加者募集 ・5/2（金）～5/23（金） ・広報（5月号）・HP・ライフビジョン・LINE	—
6～7月	【事前学習】ワークショップ ・ウガンダ共和国について/SDGsを学ぶ 他 【課題設定】	2回 程度
7～8月	【体験・交流】ウガンダ共和国からウガンダ人を招待 ・ウガンダ共和国内でNGO活動を行っている方 ・町内の小・中学校及び高等学校等を訪問予定（国際交流）	半日
	【体験・交流】『大阪・関西万博』会場訪問 ・ウガンダ人招待者とこどもと一緒に万博会場を訪問 ・課題意識をもってウガンダ共和国を含む各国パビリオンを訪問	2泊 3日
9～10月	【事後学習】ワークショップ ・知ったこと、学んだこと、感じたことなどのまとめ ・報告会に向けた準備	2回 程度
11～12月	【報告】報告会 ・得られた体験・経験などのフィードバック	半日

(7) 事業費

- ・町予算の計上なし（受託事業者が内閣官房へ直接請求・支払い）

※経費の上限：960万円

※対象経費：運営費、交通費、宿泊費 など

※対象外経費（参加者負担）：万博チケット代、食糧費

<参考>

万博国際交流プログラムとは？

内閣官房が主体となり、大阪・関西万博を契機に、地域住民と万博参加国・地域の関係者が、地方公共団体の事業を通じて継続的に国際交流していくための枠組みを実施し、参加国・地域との相互理解や国威交流を通じた地域の課題解決・活性化などの取組みを支援するプログラム

内閣官房事業とは？

万博参加国・地域との相互交流を通じて、住民に地域の未来・課題と可能性をイメージしてもらうとともに、大阪・関西万博を契機に課題解決や地域活性化を後押しする。地域の住民等と交流相手国関係者が継続的に交流していくために交流相手国と行う事業に対し支援